

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 352 号	氏名	松田 安弘
学位審査委員	主査	村田 比呂司	
	副査	林 善彦	
	副査	渡邊 郁哉	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究では、鑄造用純チタンおよびコバルトクロム合金と義歯床用レジンの接着強さに及ぼす各種表面処理の効果について検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 サンドブラスト処理 (SAN)、SAN+4 種類のプライマー処理、ロカテック処理の 6 種類の表面処理を両金属の接着面に対して行い、義歯床用レジンを接着、重合させ、せん断接着強さを計測した。各条件における結果について平均値と標準偏差を算出、統計解析を行い、破断面の観察を行った。これらの研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、SAN+プライマー処理の有用性が示された。臨床において、鑄造用純チタンおよびコバルトクロム合金の前処理は SAN のみが多いが、機械的処理と化学的処理を併用する必要性が示され、その考察も妥当である。本研究の今後さらなる発展が期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は金属と床用レジンの接着性向上に関する歯科材料研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (歯学) の学位に値するものと判断した。</p>			